



Special Interview

仕事に、人生に全力！
輝きを放つ女性たち

Interview 01

交通部 運転教育課 高齢運転者支援室

現場の代表として、有識者会議に出席
専門家との議論をキャリアのプラスに。

高齢運転者の運転免許更新に必要な高齢者講習、認知機能検査および運転技能検査の実施をはじめとした、免許手続に関する支援業務を行っています。私は副室長という立場で室長を補佐しながら、約50人の室員の指導や業務管理を担当しています。高齢運転者は、今後ますます増加します。交通事故のない社会を目指し、体制や施設を構築することは大変重要な課題であり、やりがいを感じています。



警察庁からの依頼を受け、都道府県警察の代表として、新たな認知機能のスクリーニング方法に関する有識者会議に参加しました。主なメンバーは医師や大学教授で、運転免許更新時の認知機能検査に携わるのは私だけでした。現場の声を正確に届けることにプレッシャーを感じましたが、通常業務では関わることのない方たちと議論をすることができ、この貴重な経験が今後のキャリアにプラスになると感じています。

Interview 02

生活安全部 人身安全対策課

夫と共に育児休暇を取得
職場復帰後もサポートが心強かった。

私は2人の子供の出産時に、それぞれ1年半の出産・育児休暇を取得しました。神奈川県警で働く夫も育休を取得して、一緒に子育てをしました。職場を離れることに心苦しさはありましたが、一方で子供に寂しい思いをさせたくないことから、育休中には幼稚園の役員会などに積極的に参加して、やり切った思いを持ったうえで仕事に復帰しました。復帰後は育休を経験した同僚が「ゆっくり思い出しながらいいから」と配慮してくれたので、不安を感じることはありませんでした。家庭を大切にしながら、仕事を続けるためのサポート制度が充実しているので、積極的に活用する人が増えるといいなと感じています。



Interview 03

交通部 第一交通機動隊

運転免許も持っていなかった私が、
白バイ全国大会優勝、
憧れの箱根駅伝先導も経験しました。

高校時代、テレビで箱根駅伝を先導する白バイ隊員に憧れて警察官を目指した私。体が小さく「お前みたいな奴が白バイに乗れるわけがない」と周囲に言われましたが、その言葉で負けず嫌いな性格に火がつきました。また、私と同じ小さな体の女性隊員の同期生が白バイ全国大会で活躍したことが自信となり、「私にも絶対できる!」と一生懸命訓練を続けました。その結果、白バイ全国大会で女性個人総合優勝を獲得、念願だった箱根駅伝の先導役にも選ばれ、憧れの箱根路を走ることができました。

女性だからといって、諦めなければならないことはありません。目標に向かって努力し続けることで、夢は必ず叶うと信じています。

